



平成31年3月期 第2四半期決算 説明会資料

2018年11月5日

オリコン株式会社

(証券コード：4800)

1-1 第2四半期決算の概要

- 売上はコミュニケーション事業が前年同期比+14.2%、データサービス事業+3.0%、雑誌事業+0.9%の増収
- モバイル事業が同▲18.7%の減収
- 原価、販管費とともに低減し同+44.8%の営業増益
- 当第2四半期累計期間は増収・増益となりました。

売上高	： 1,872 百万円	前年同期比	2.3%	増
営業利益	： 375 百万円	前年同期比	44.8%	増
経常利益	： 365 百万円	前年同期比	46.0%	増
純利益※	： 230 百万円	前年同期比	79.4%	増

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1-2 連結損益計算書

(単位：百万円)	2018年3月期 第2四半期(累計)	2019年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	
			(額)	(率)
売上高	1,830	1,872	+42	+2.3%
売上原価 (原価率)	835 (45.6%)	805 (43.0%)	▲29	▲3.5%
差引売上総利益 (売上総利益率)	995 (54.4%)	1,067 (57.0%)	+71	+7.2%
販管費 (販管費率)	736 (40.2%)	691 (36.9%)	▲44	▲6.0%
営業利益 (営業利益率)	259 (14.2%)	375 (20.0%)	+116	+44.8%
経常利益 (経常利益率)	250 (13.7%)	365 (19.5%)	+115	+46.0%
税引前純利益 (税引前純利益率)	224 (12.3%)	358 (19.2%)	+133	+59.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (純利益率)	128 (7.0%)	230 (12.3%)	+102	+79.4%

【売上高】

●増収セグメント

コミュニケーション事業 +129百万円(+14.2%)
 データサービス事業 +9百万円(+3.0%)
 雑誌事業 +1百万円(+0.9%)

●減収セグメント

モバイル事業 ▲90百万円(▲18.7%)

【セグメント利益】

●増収要因

コミュニケーション事業 +146百万円(+40.0%)

●減収要因

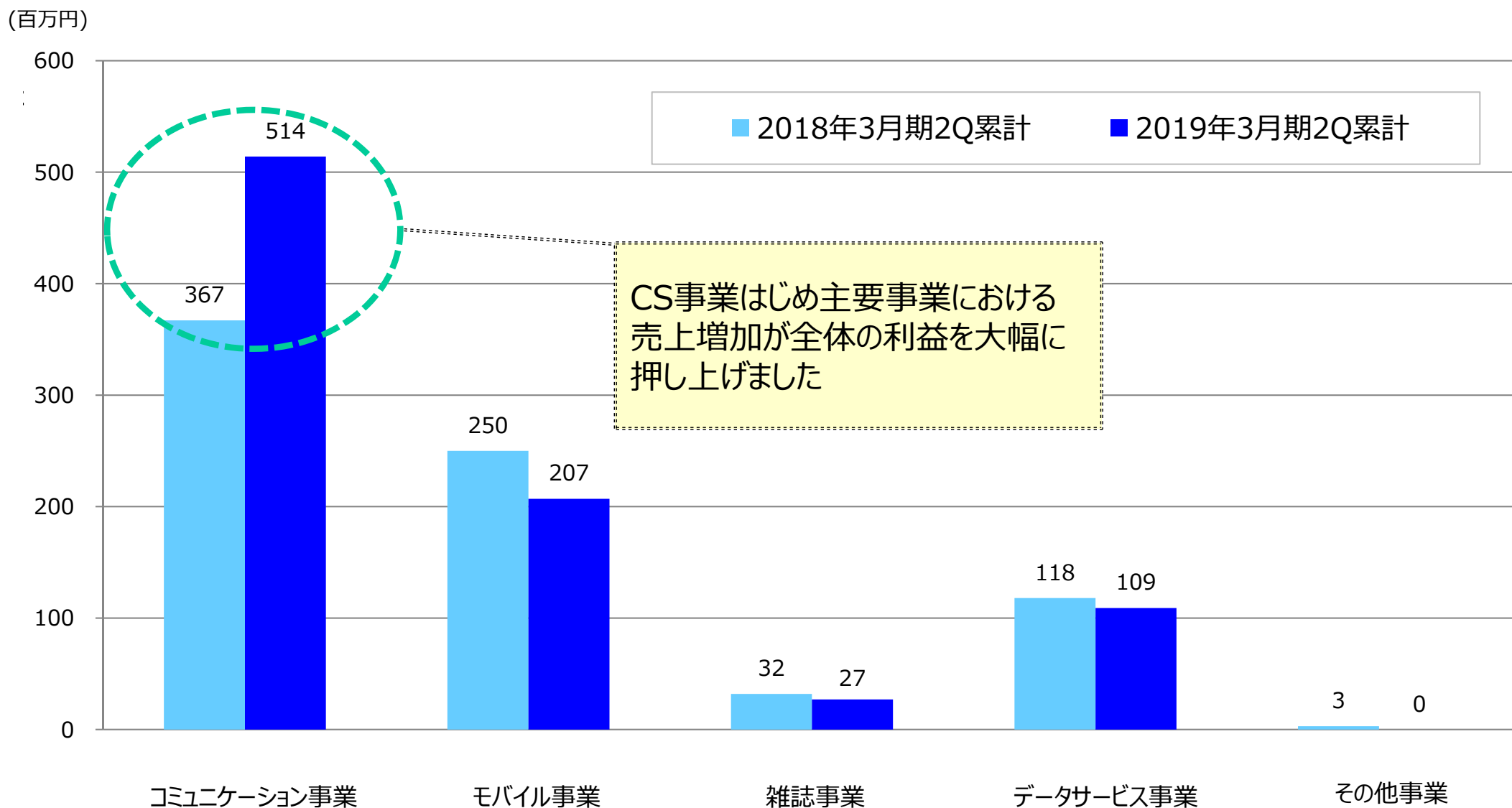
モバイル事業 ▲43百万円(▲17.2%)
 データサービス事業 ▲9百万円(▲8.2%)
 雑誌事業 ▲4百万円(▲14.5%)

セグメント詳細は次頁

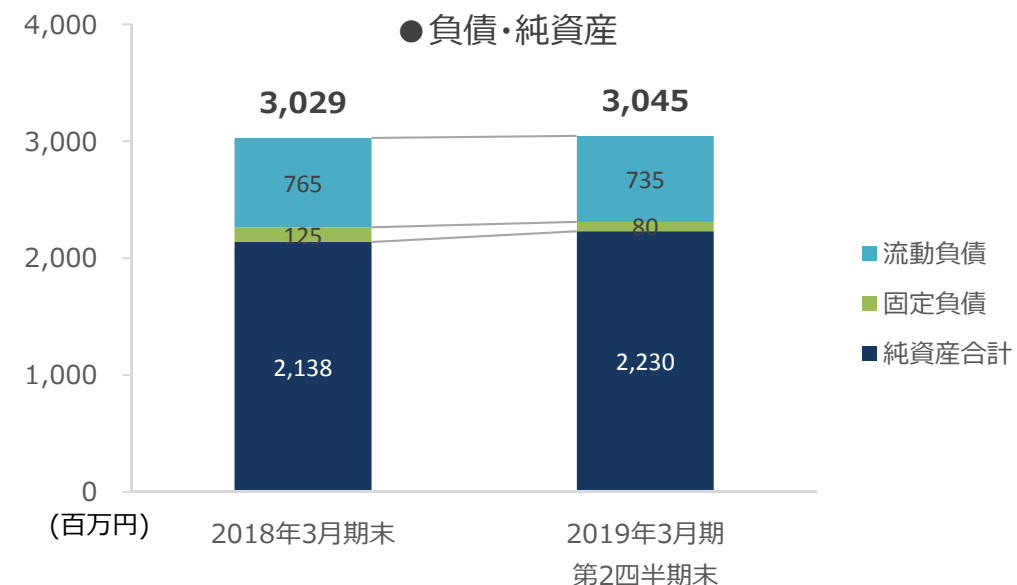
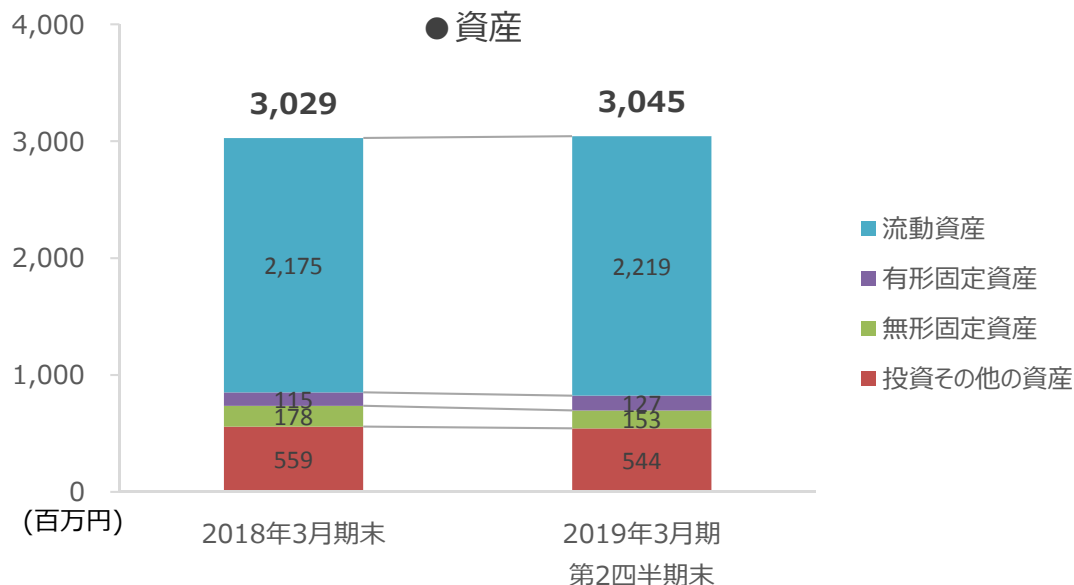
コミュニケーション事業 +14.2% モバイル事業 ▲18.7% (前年同期比)

	2018年3月期 第2四半期(累計) (単位：百万円)	2019年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	
			(額)	(率)
コミュニケーション事業	907	1,037	+129	+14.2%
顧客満足度 (CS) 調査事業	431	505	+73	+17.1%
バナー型広告・タイアップ型広告等	475	531	+55	+11.6%
モバイル事業	482	391	▲90	▲18.7%
フィーチャーフォン向けコンテンツ配信	274	198	▲76	▲27.7%
スマートフォン向けコンテンツ配信	207	193	▲14	▲6.8%
雑誌事業	122	123	+1	+0.9%
データサービス事業	310	320	+9	+3.0%
その他	6	0	▲6	▲100.0%
売上高合計	1,830	1,872	+42	+2.3%

コミュニケーション事業 +40.0% モバイル事業 ▲17.2% (前年同期比)



1-5 連結貸借対照表

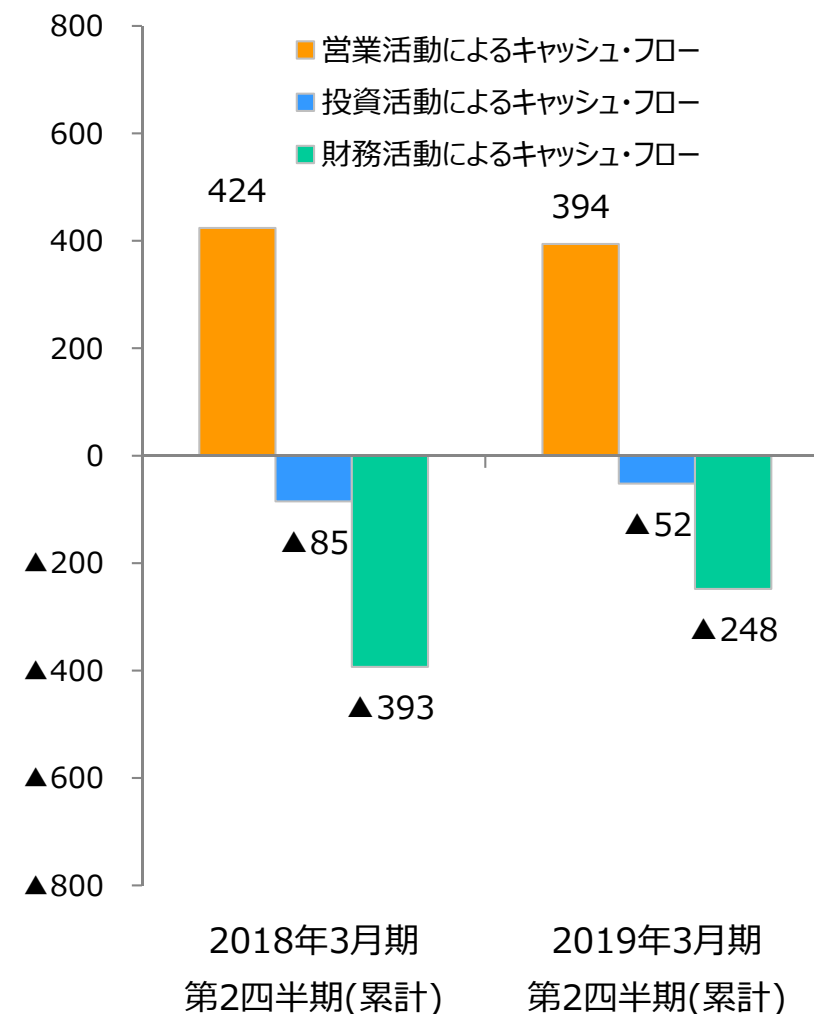


(単位：百万円)	2018年3月期末	2019年3月期第2四半期末	増減	(単位：百万円)	2018年3月期末	2019年3月期第2四半期末	増減
資産合計	3,029	3,045	+16	負債・純資産合計	3,029	3,045	+16
流動資産	2,175	2,219	+44	負債合計	890	815	▲75
有形固定資産	115	127	+11	流動負債	765	735	▲30
無形固定資産	178	153	▲24	固定負債	125	80	▲45
投資その他の資産	559	544	▲14	純資産合計	2,138	2,230	+91

前期末比で現預金が増加し、有利子負債は減少
自己資本比率 73.2% (前期末比 +2.6ポイント)

1-6 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)	2018年3月期 第2四半期(累計)	2019年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	424	394	▲30
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲85	▲52	+33
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲393	▲248	+145
現金及び現金同等物の増減額	▲54	93	+148
現金及び現金同等物の期首残高	1,285	1,409	+124
現金及び現金同等物の期末残高	1,230	1,503	+272



フリー・キャッシュフローは341百万円（前年同期比+2百万円）

固定資産取得▲52百万円、配当金支払▲138百万円

連結業績予想数値（平成30年5月9日発表）の変更はありません

(連結業績予想)

(単位：百万円)	2019年3月期 連結予想	前期比
売上高	3,840	+2.7%
営業利益	680	+8.0%
経常利益	650	+6.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	420	+8.6%

(報告セグメント別売上高予想)

(単位：百万円)	2018年3月期 [実績]	2019年3月期 [予想]	前期比	
			(額)	(率)
コミュニケーション事業	1,927	2,144	+217	+11.3%
顧客満足度（CS）調査事業	945	1,029	+83	+8.8%
バナー型広告・タイアップ型広告等	981	1,115	+134	+13.7%
モバイル事業	909	782	▲127	▲14.0%
フィーチャーフォン向けコンテンツ配信	502	365	▲137	▲27.3%
スマートフォン向けコンテンツ配信	407	416	+9	+2.4%
雑誌事業	273	276	+2	+0.9%
データサービス事業	618	636	+18	+3.0%
その他	10	0	▲10	▲100.0%
売上高合計	3,739	3,840	+101	+2.7%

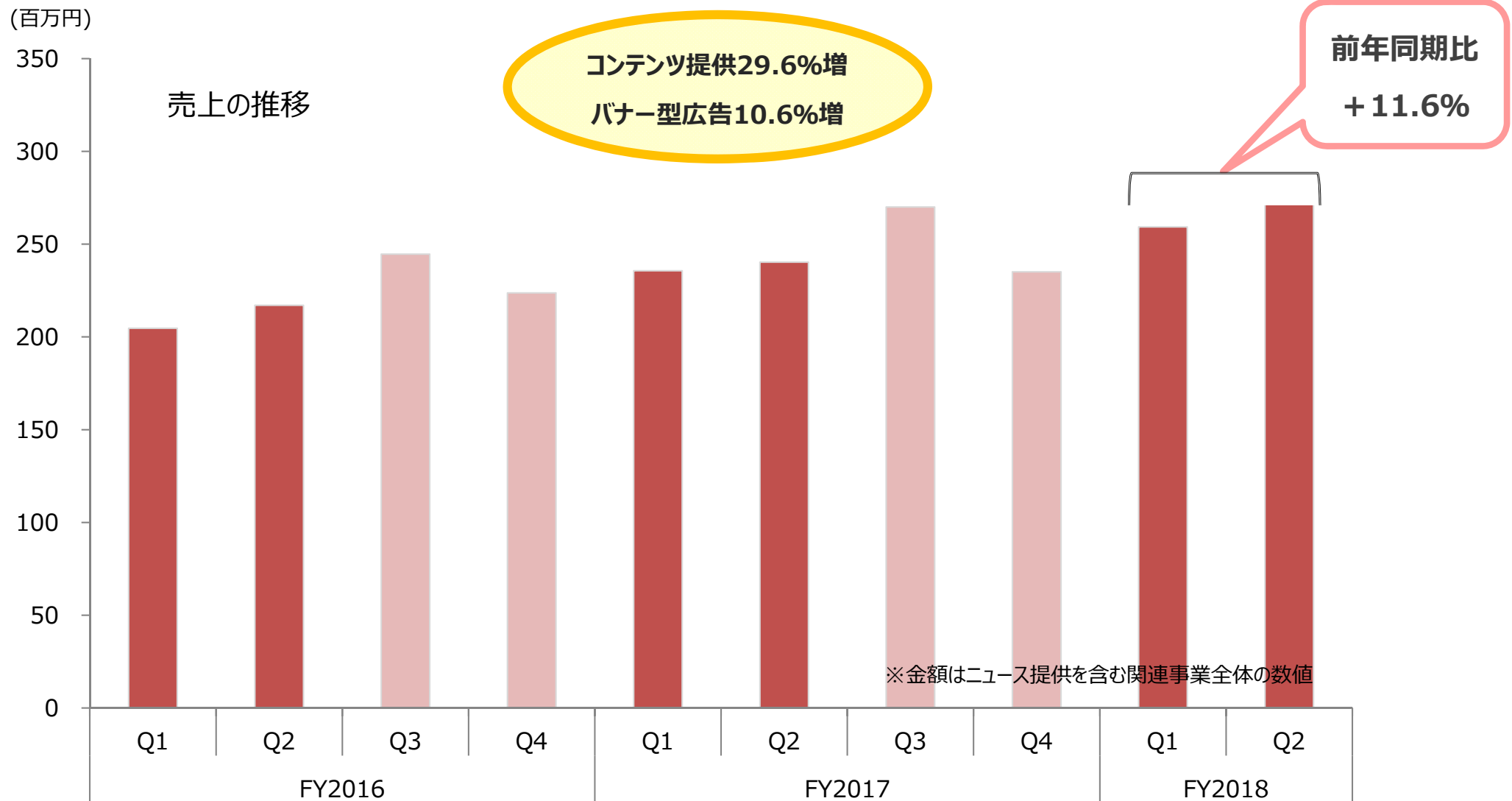
◆顧客満足度(CS)調査事業



ランキング更新時の受注率・単価向上で収益を底上げ

3 コミュニケーション事業の状況②

◆WEBサイトバナー・タイアップ型広告等



動画コンテンツ、インフィード広告を中心に収益拡大



ORICON NEWS

《メディア強化施策》

AIを活用したニュース
記事の作成支援

SNS運用による
コミュニケーション促進

配信ジャンルを広げ
新領域での価値創出

ページビュー実績

9月

1.72億

月間過去最高

Q2(7~9月)

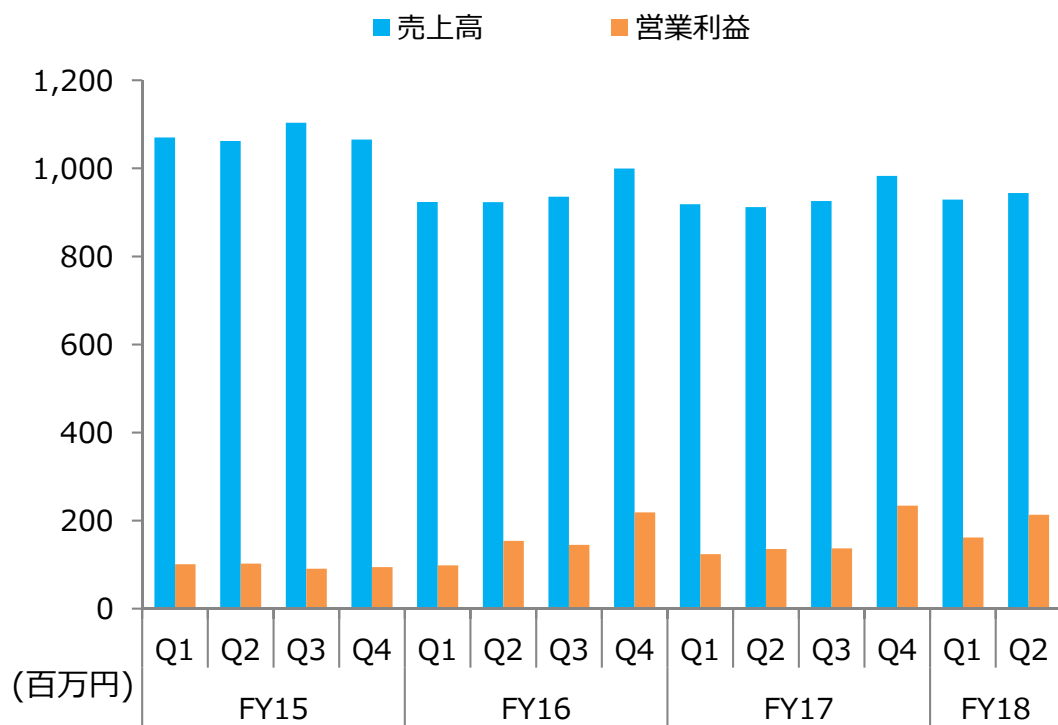
対前年同期間

120.0%

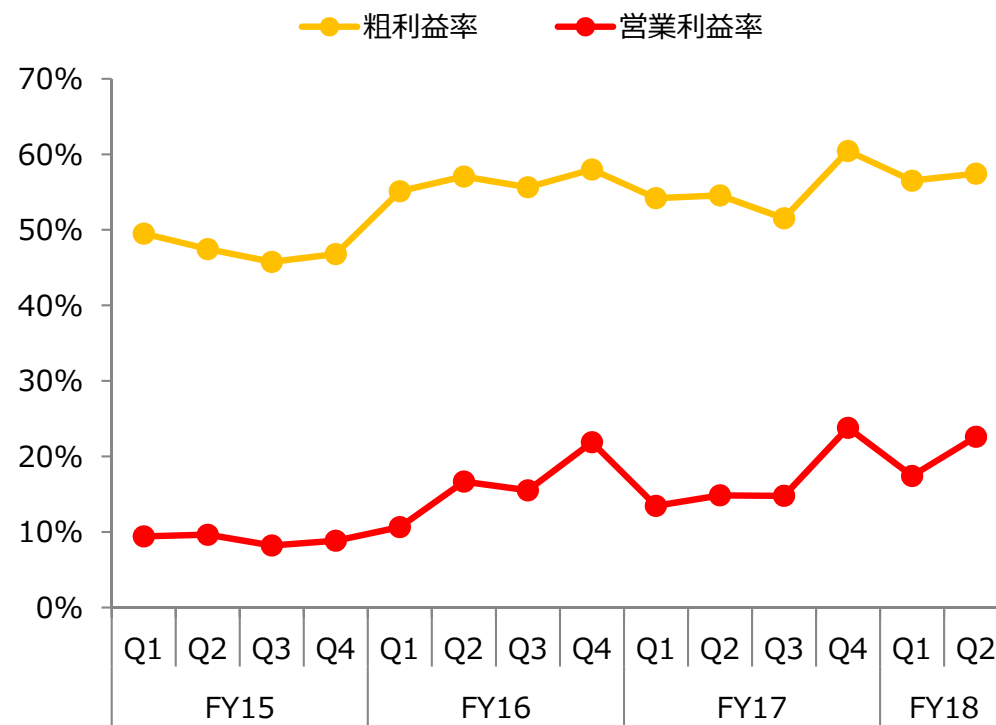
期首から上期末にかけて増加トレンドで進捗

4 【ご参考】各種実績データ①

◆ 四半期推移

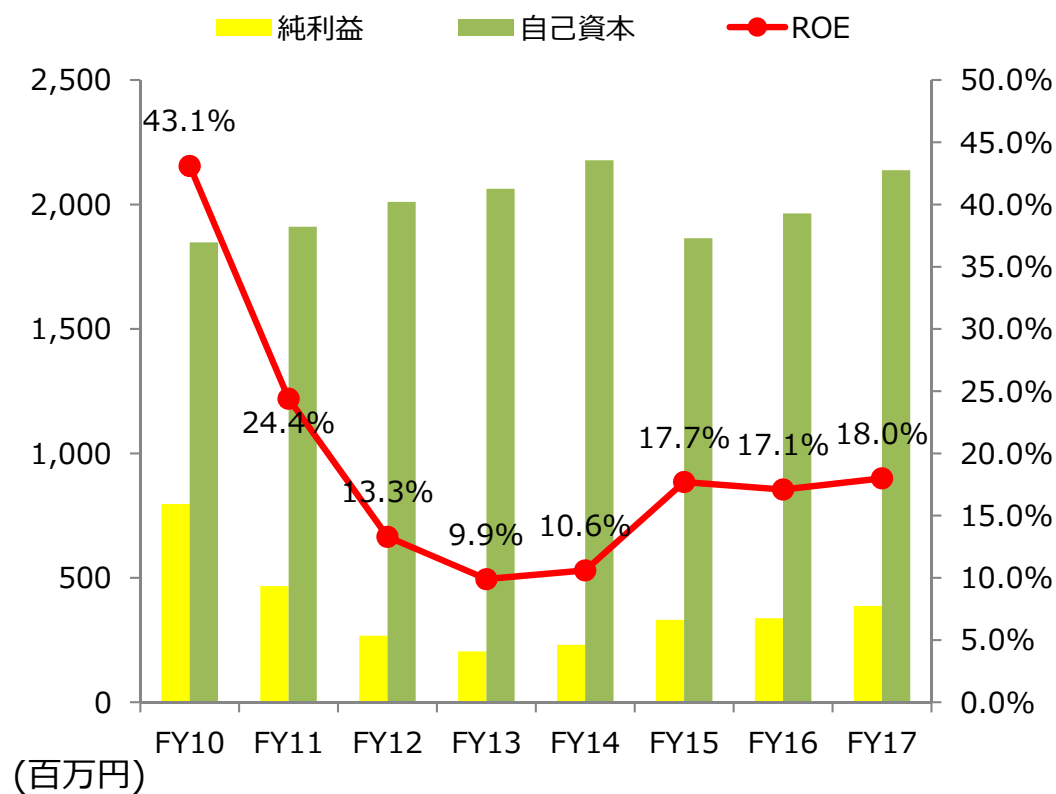


◆ 利益率

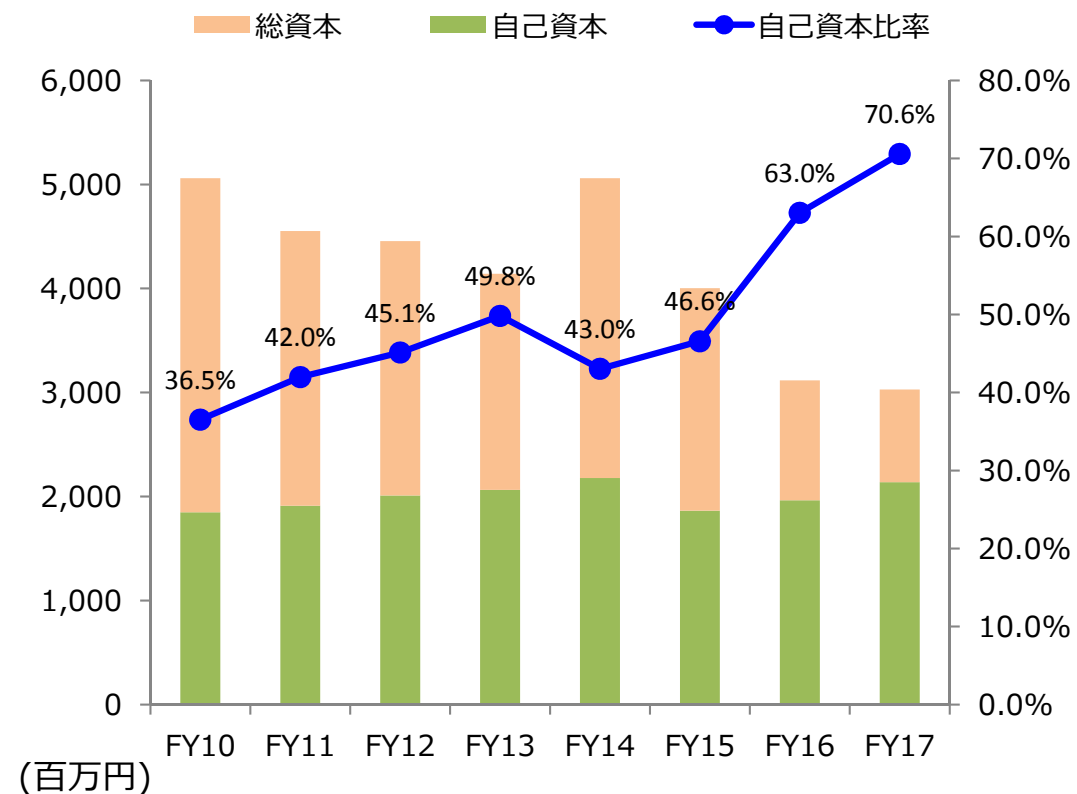


4 【ご参考】各種実績データ②

◆ ROE



◆ 自己資本比率



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社
<https://www.oricon.jp>